



学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子
児童数 男子489名 女子476名 計965名

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



小さな石でも

校長 石井 宏明

先月号で「一番大きな石」の話を書きました。

今月号は「小さな石」の話です。

我が子が小学生の頃、子供の机の引き出しを開けてみると、私たち大人から見ると他愛もない物がたくさんしまわれていることがありました。趣味で集めたシールや消しゴム、好きなキャラクターのメモ帳等、大人にとっては、正に「小さな石」のような物かもしれません。

その「小さな石」を子供に内緒で捨てようものなら、泣いたり、怒ったり、ふてくされたりして大変な騒ぎになるでしょう。

実は、この「小さな石」は、子供の「大切な宝」なのです。

他人にとっては、つまらない物に思えても、本人にとってはかけがえのない宝であるのは、それが心の支えであり、拠り所となっているからです。逆に、そんな「宝」をもっている人こそ幸せなのです。

さて、「星の巡礼」(パウロ・コエーリョ:著)という小説があります。

奇跡の剣を求めて「星の道」と呼ばれるサンチャゴ巡礼(スペイン)に出かけた主人公のパウロが、様々な試練を乗り越えてやっと剣を手にするというお話です。(「ドラゴンクエスト」ではありません)

このお話は、奇跡の剣を求めることを通して、実は人生の道標を見つけるための旅だったというお話です。

つまり、主人公が自分自身の内なる力を発見するまでの物語なのです。

激動の社会に生まれ、AIと人間が共存していく時代に育つ『しわすだっ子』が、本校でどのように学び、巣立った後どのような人生を歩むのか。また、その過程でどのような宝を見出すのか、願わくは、その宝が物やお金でなく、素晴らしい人との出会いであって欲しいと考えております。

そして、その出会いにより、自分一人では得ることが難しい、たくさんの楽しさや喜びを分かち合っほしいと思います。何といても本校は、これまで、10,759名の卒業生を送り出した伝統ある

紫金の校旗	行くところ
希望は輝く	日本の
文化をつくる	あすの日の
力をやしなう	楽しさよ
ここはわれらの	ほまれのふるさと
十二月田小学校	(校歌2番より)

*「紫紺」ではなく、「紫金」がいいなあ。

なのですから。

古くから「物や金は一時の宝、人の心は一生の宝」と言われております。

しわすだっ子一人一人が『心から愛せる宝』を得てほしいと願っております。